月刊

熊本県議会議員

髙島和男がゆく

令和2年2月号

渋滞緩和へ議論開始

熊本市中心部には朝夕の通勤、退社時間帯の交通渋滞が慢性化している箇所が多々あり、特に雨天時は深刻な状況となっています。

歴史を遡ると、熊本は他の城下町同様江戸初期の町割りを基本的に受け継いでいます。しかも通説では加藤清正公が将来、徳川相手の戦を想定し、最初から人や物資の移動をしにくいように意図して作られたともいわれています。

それから400年が経過し、中心部の渋滞緩和に関してはこれまで県・市はじめ様々な施策を講じたものの、時代の変遷や物流の急増による車両の増加等に追いつけず、抜本的な解決を見いだせずにいました。

それが昨年6月、中心部の渋滞解決を検討するため国交省、県、市、民間、学識経験者でつくる**「熊本市道路ネットワーク検討会」**が設立されました。

その後、昨年末まで3回会議が開催され、直近12月25日の会議では今後必要な道路ネットワーク機能イメージとして

①中心部と高速道路ICのアクセス強化

②中心部と空港・港湾アクセスの効率化

③3号線の道路空間の再編等

が、委員間で共有されました。

私が所属する県議会の『高速交通ネットワーク整備推進特別委員会』でも毎回中心部における渋滞が議論の対象に上がります。これからは議論のみならず、明確な将来図とスケジュールを示し、早急に事業化して渋滞解消を実現することが求められます。

私も熊本市選出の県議会議員として中心部の渋滞緩和に尚一層取り組んでまいります！

旧NTT病院前交差点について

私も日常的に渋滞緩和や危険個所への信号機設置の依頼を受けます。昨年参加したある忘年会で九品寺交差点近くの旧NTT病院前交差点についえ相談を受けました。

【今まで】

朝のラッシュ時に九品寺の交差点❶の信号が赤になり、間を置いて❷の信号が赤になるので図上からの車輌が交差点を塞ぎ、県立劇場からの交差点への進入ができないで困るとの内容でした。

【変更後】

早速関係機関に話して現地調査を行い、❶の信号と❷の信号を連動させることで図上から九品寺交差点方面への進入を制限し、県立劇場方面からの車輌がスムーズに進入することができるようになりました。

※僅か数秒の変更で渋滞が緩和した一例です。前記の抜本策に取り組みつつ、できる解消策には随時取り組んでまいります。

髙島和男事務所

届けます！あなたの思いを県政に

髙島和男サポーター募集中です！

〒862-0962 熊本市南区田迎 2-17-7

TEL.096-288-6004

FAX.096-288-6009

ホームページでは写真付日記を毎日更新！

http://takashima-kazuo.com

Facebookもやっています！

天明地区　高良川

昨年天明町の自治会長さんから「梅雨どき大雨が続くと、高良川が増水して住宅地に越水し非常に危険で生活上も不便で仕方ない」との相談を受けました。

現地で状況を確認すると、相談を受けた箇所は川の左岸と右岸で高低差が大きく、増水すれば低い左岸側に越水するのはむしろ自然に思えました。

関係機関に連絡して調査した結果、高低差を全面的に改良するのは事業費も多額で工期もかかるので、最低限の防御として住宅地に浸水を防ぐためにコンクリートでかさ上げすることになりました。

これで今年の梅雨どきの雨も安心です。

ポスターの報道について

ポスター代の報道について

昨年12月30日の地元紙に先に行われた統一地方選挙の際の県議選において、候補者間でポスター代のばらつきがあまりに大きく、公費負担の上限額の設定や実態が不透明との記事が掲載されました。

現行の公選法におけるポスター代について

①掲示箇所の2倍までの枚数作製が認められること
②上限額が熊本市2区は９５５，２７２円と設定されていること

～が予め決められています。

代金は選挙終了後、県選挙管理委員会に単価と枚数を申請すれば県から製作した印刷会社に支払われる仕組みで、デザインや撮影料金等の明細書の添付は不要となっています。

私は印刷会社に対して右記の①と②を説明し、その範囲内での作製と、天候の影響を受けにくいものを！のリクエストを付け加えて依頼しました。

※今回は記したような経緯で記事にもあったように法令に違反したわけではありません。但し、今後仮に制度が見直されることになれば、当然ながら新制度に則り誤解のないように作製してまいります。